

函館臨床福祉専門学校

学校関係者評価報告書

(令和元年度)

学校法人西野学園

函館臨床福祉専門学校

学校法人西野学園 函館臨床福祉専門学校 学校関係者評価報告書について

学校法人西野学園は、平成24年度より学校自己評価を行い本学園のホームページ上に公表いたしました。

また、平成27年度からは本校に関係の深い方々からご意見を頂戴し今後の学校運営に反映させ、改善を図るべく「学校関係者評価」を実施して、今年で5年目になります。学校関係者評価委員会では、第三者の視点に立った、多くの貴重なご意見、ご指導を賜り、改めて学校関係者評価の重要性を認識した次第です。ここに学校関係者評価の内容についてご報告いたします。

今後もより良い学校運営、教育活動を目指し、教職員一同尽力して参りますので、関係者の方々をはじめ皆様の、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年5月

函館臨床福祉専門学校 校長 佐藤 久道

「学校関係者評価」の実施について

今回は「平成30年度 学校自己評価」に基づき、学校関係者評価委員会の方々に評価して頂きました。

各評価委員には、事前に「平成30年度 学校自己評価」を配布した上で、学校関係者評価委員会でご意見を頂戴しました。

評価頂いた結果に対しては速やかに改善策を構築し、今後実践していく所存です。

その内容について要約の上、次のとおり報告いたします。

学校関係者評価委員名簿

氏名	所属
廣畑 圭介	北海道教育大学 函館校 講師
祐川 暢生	社会福祉法人侑愛会 侑愛荘 施設長
清川 真千子	函館市介護保険課 認定調査員（函館臨床福祉専門学校 介護福祉士科 卒業生）
河原 武則	元北海道函館水産高等学校 校長

開催日時

- 第1回 学校関係者評価委員会 令和元年10月 7日 15時30分～17時30分
第2回 学校関係者評価委員会 令和2年 3月19日 15時30分～17時30分

平成30年度 函館臨床福祉専門学校 学校関係者評価

項目		平成29年度 自己点検 結果	平成30年度 自己点検 結果	平成30年度 学校関係者評価結果	
I 教育理念・目標	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.5	4.7	<ul style="list-style-type: none"> ・理念、目標、育成人材像が明らかにされており、学生と接する際にもそのことが感じられる。 ・しっかりと教育計画が立てられ、学生便覧によって学生等に周知されており、おおむね達成されている。 ・社会福祉科募集停止に伴う、今後のフォローアップ対策を積極的に計画・実施されたい。
	2	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4.5	4.4	
	3	理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	4.3	4.5	
II 学校経営	4	目的等に沿った経営方針が策定されているか	4.7	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・校長以下組織体制が構築され、理念・目的を共有しながら、経営・運営に当たっている。 ・ホームページなどで情報公開も積極的に行っており、各項目はおおむね達成されている。 ・外国人留学生も経営上の柱として取り組む姿勢を明示した方がよい。
	5	運営組織は明確にされ、有効に機能しているか	4.7	4.5	
	6	情報システム等による業務の効率化が図られているか	4.4	4.4	
	7	学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか	4.3	4.2	
	8	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4.7	4.7	
III 教育活動	9	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4.5	4.7	<ul style="list-style-type: none"> ・学生便覧及び講義概要で明文化され、実行されている。 ・職員の評価の実施等、教育を良くしていこうという姿勢が見える。 ・外部の意見や、学生の評価を採り入れながら、教育課程の見直しなどを行っており、常に教育活動の質を上げようとする姿勢を保っている。 ・教育活動の各項目はおおむね達成されている。
	10	学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか	4.6	4.5	
	11	授業規律を確保し、指導体制の立て直しが図られているか	4.8	4.3	
	12	関連分野の企業・施設等や業界団体等との連携により、教育課程の作成・見直しが行われているか	4.5	4.5	
	13	成績評価、単位認定の基準は明確になっているか	4.8	4.7	
	14	授業評価の実施、評価体制があるか	4.6	4.6	
	15	職員の能力開発のための研修が行われているか	4.3	4.6	
	16	クラス担任と教科担任の連携を密にし、学生の実態にあった指導法の確立に努めているか	4.8	4.6	
IV 学修成果	17	就職率の向上が図られているか	5.0	4.8	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の社会福祉法人の実習やインターンシップに学生が参加し、就職前に福祉現場との接点を多く持てるよう努力している。 ・就職率は非常に高く、達成されていると感じる。 ・留学生の退学が残念な状況であったが、退学者をゼロにしようとする努力、例えば、個別に複数の教員が対応するというきめ細かな体制は良いことだと思う。
	18	退学率の低減が図られているか	4.0	3.8	
	19	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4.3	4.4	

V 学生支援	20	学生相談に関する体制は整備されているか	4.8	4.7	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生が足繁く学校を訪ねてくることから、在学中の教職員との信頼関係の深さを感じ取ることができる。 ・卒業生と在校生が交流・情報交換する機会があることも、進路指導上意義のあることだと思われる。 ・ボランティア活動の情報も適宜学生に伝えられており、ボランティア参加を通して地域の諸活動への興味関心を深めていることも評価できる。
	21	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4.4	4.8	
	22	保護者と適切に連携しているか	4.8	4.7	
	23	卒業生への支援体制はあるか	4.8	4.5	
	24	ロングホームルームなどを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか	4.7	4.8	
	25	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4.1	4.4	
	26	学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか	4.6	4.4	
VI 教育環境	27	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3.8	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の書籍とトイレ設備の充実化が図れており、おおむね達成されている。 ・災害は突然やってくると言われていて、普段の備え・防災訓練などが大切である。きめ細かく訓練を実施し、万が一に備えていただきたい。
	28	図書室利用の活性化が図られているか	4.4	4.6	
	29	防災に対する体制は整備されているか	4.3	4.7	
VII 学生募集	30	学生募集は適正に行われているか	4.5	4.7	<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項に基づいて問題なく適切に学生募集が行われていると思う。 ・介護業界自体が人員不足の中、更に学生募集となると大変かと思うが色々な機会を作って活動されていると思う。 ・学校独自の努力の限界性がある環境の中で、行政機関等との連携による学生募集が求められる。
	31	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4.4	4.6	
VIII 財 務	32	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4.3	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・学生数減少による収入減がみられるが、学生数に対応した予算編成となっており、予算の収支計画は妥当なものとなっている。
	33	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.4	4.7	
IX 法令等の遵守	34	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5.0	4.9	適切に対策が取られている。
	35	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.8	4.6	
X 社会貢献等	36	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4.4	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・数少ない地域における福祉の専門学校であり、その存在自体が多大な社会貢献だと言える。 ・認知症対策、介護方法講座等の学校開放も検討すべき。 ・学生ボランティアに助けられたことが何度かあった。ボランティア募集以外にも、必要としている施設や団体もあると思うので、これからも継続して行って欲しい。
	37	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4.8	4.6	

・社会福祉専門職養成機能について、教育内容は十分にその役割を果たしている状況であるが、学生数については課題が残る。
 ・社会福祉を仕事として選ぶ若者が減少しているのは現実だが、他方で、子育て、介護、生活困窮など地域の福祉ニーズは増え、多様化、複雑化している。地域にこれまで多くの福祉人材を送り出してきた貴校の存在と活動は高く評価できるものであり、今後も存在意義が大きいと思っている。どの業界でも課題が山積しているが、貴校においても、一つひとつ課題を解決し、安定した経営・運営を続け、質の高い教育を学生の皆さんに提供して行っていただきたい。
 ・教育方針など時代に合わせ対応していくのは大変だと思う。まだまだ介護に関しての意識や関心が薄いと感ずることがある。行事やイベントを通しての活動をこれからも頑張って続けて行って欲しい。